



ご縁を喜び、お念仏とともに

親鸞聖人御誕生

850  
立教開宗  
800

# 組 報 多 摩

親鸞聖人御誕生850年・  
立教開宗800年慶讃法要

立教開宗記念法要  
ご門主様の法話(ご親教)

親鸞聖人御誕生850年・  
立教開宗800年についてのご消息

慶讃法要

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要  
スローガン「ご縁を慶び、お念仏とともに」

2023(令和5)年にお迎えいたします親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要は、「親鸞聖人の説き示してくださいました浄土真宗の教えに出遇うことがなければ、今の私はありません。なかつたという聖人への感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人のご誕生を祝い、『立教開宗』に感謝する」法要です。

「スローガンについて」

私たちは、どんな時に「ご縁」の尊さを思うのでしょうか。人生の伴侶としての夫婦の出会い、あるいは学校の親友や会社の仲間、近所の人たちや、医療や行政の支えなど、少し考えただけでも、実に多くの尊い「ご縁」によって支えられていることに気づくでしょう。

こういう横の空間的つながりだけでなく、縦の時間的つながりもあります。たとえば、今の私には、先ず両親という「ご縁」があり、その両親にも、何代も遡れば数え切れないほどの「ご縁」のたまものがあります。また、「袖擦り合うも多生の縁」と言い習わしてきたように、ふと擦れ違うだけでも長い「ご縁」のたまものであったという感性もあります。

浄土真宗の宗祖親鸞聖人も、阿彌陀如来の救いに出あわれた慶びを「遠く宿縁を慶べ」と、「はるか過去からのご縁のたまものへの慶び」を表しておられます。阿彌陀如来の救いとは、「私は、あなた方一人ひとりを、そのままに受け止め、決して見はなさない」との願いが、「お念仏」となってはたつき続けていることです。

今の私たちが、このお念仏の教えに出あうことができたのは、850年前の親鸞聖人ご誕生あつてのことであり、そして800年前に、その教えを明らかにしてくださいましたからに他なりません。私たちは、その800年にわたる長い伝統と歴史の一員に名を列ねていることの慶びを噛みしめねばなりません。

そして、ともに阿彌陀如来に願われ、阿彌陀如来のお慈悲に包みこまれ、お念仏としてはたつき続けてくださっていることへの感謝と慶びの輪を、さらに広めていきたいものです。

このスローガンの策定意図を基にして、親鸞聖人の命の灯が、人々を救い、教えを広める様子をイメージしてロゴマークを制作しました。親鸞聖人を中心に、手を合わせる人々が一つに集い、共に生きていく姿を、蓮の形で表現しています。



ご縁を慶び、お念仏とともに

親鸞聖人御誕生

850  
立教開宗

法要期日 2023(令和5)年

- 【第1期】 3 / 29 (水) ~ 4 / 3 (月)
- 【第2期】 4 / 10 (月) ~ 4 / 15 (土)
- 【第3期】 4 / 24 (月) ~ 4 / 29 (土)
- 【第4期】 5 / 6 (土) ~ 5 / 11 (木)
- 【第5期】 5 / 16 (火) ~ 5 / 21 (日)

一人ひとりを

そのままに

決して捨てないと

よび続け

はたらきかける 仏さま

その願いに

であうとき

ともに響きあう世界が

恵まれる



浄土真宗本願寺派（西本願寺）

ありがとう

私たちのいのちと 今の生活を  
支えてくれている 全ての方々へ

本願寺御影堂前 逆さ銀杏

1788(天明8)年、京都のまちを大火が襲った。  
そのとき銀杏から水が噴き出し 火を消し止めたと伝わる。

ダウンロードURL



# 立教開宗記念法要

## ご門主様の法話（ご親教）

### 「浄土真宗のみ教え」についてのご親教

本年も、皆さまと共に立教開宗記念法要のご勝縁に遇わせていただきました。立教開宗とは親鸞聖人が『教行信証』を著して他力の念仏を体系的にお示しになり、浄土真宗のみ教えを確立されたことをいいます。この法要をご縁として、私たちに浄土真宗のみ教えが伝わっていることをあらためて味わわせていただきましょう。

さて、仏教を説かれたお釈迦さまは、諸行無常や諸法無我という言葉でこの世界のありのままの真実を明らかにされました。この真実を身をもって受け入れることのできない私たちは、日々「苦しみ」を感じて生きていますが、その代表的なものが「生老病死」の「四苦」であるとお釈迦さまは表されました。むさぼり・いかり・おろかさなどの煩惱を抱えた私たちは、いのち終わるその瞬間まで、苦しみから逃れることはできません。

このように真実をありのままに受け入れられない私たちのことを、親鸞聖人は「煩惱具足の凡夫」と言われました。

そして、阿弥陀如来は煩惱の闇に沈む私たちをそのままに救い取りたいと願われ、そのお慈悲のお心を「南無阿弥陀仏」のお念仏に込めてはたらくき続けてくださっています。ご和讃に「罪業もとよ

りかたちなし妄想顛倒のなせるなり」「煩惱・菩提体無二」とありますように、人間の分別がはたらか出す前のありのままの真実に基づく如来のお慈悲ですから、いのちあるものすべてに平等にそがれ、誰一人として見捨てられることなく、そのままの姿で摂め取ってください。

親鸞聖人は「念仏成仏これ真宗」（『浄土和讃』）、「信は願より生ずれば 念仏成仏自然なり 自然はすなはち報土なり 証大涅槃うたがはず」（『高僧和讃』）とお示しになっています。浄土真宗とは、「われにまかせよ そのまま救う」という「南無阿弥陀仏」に込められた阿弥陀如来のご本願のお心を疑いなく受け入れる信心だ一つで、「自然の浄土」（『高僧和讃』）でかたちを超えたこの上ないきとりを開いて仏に成るというみ教えです。

阿弥陀如来に願われたいのちと知らされ、その温かなお慈悲に触れる時、大きな安心とともに生きていく力が与えられ、人と喜びや悲しみを分かち合い、お互いに敬い支え合う世界が開かれてきます。如来のお慈悲に救われていく安心と喜びのうえから、仏恩報謝の道を歩まれたのが親鸞聖人でした。私たちも聖人の生き方に学び、次の世代の方々にご法義がわかりやすく伝わるよう、ここにその肝要を「浄土真宗のみ教え」として味わいたいと思います。

# 浄土真宗のみ教え

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声

私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ

「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう といたदैいて

この愚身をまかす このままで

救い取られる 自然の浄土

仏恩報謝の お念仏

み教えを依りどころに生きる者 となり

少しずつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合い

日々に 精一杯 つとめます

来る2023（令和5）年には親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要をお迎えいたします。聖人が御誕生され、浄土真宗のみ教えを私たちに説き示してくださったことに感謝して、この「浄土真宗のみ教え」を共に唱和し、共につとめ、み教えが広く伝わるようお念仏申す人生を歩ませていただきます。なお、2018（平成30）年の秋の法要（全国門徒総追悼法要）の親教において述べました「私たちのちかい」は、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗にあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会で引き続き唱和していただき、み教えにつながっていくご縁にさせていただきたいと願っております。

2021（令和3）年4月15日

浄土真宗本願寺派門主

大谷 光淳



## 親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年についての消息

来る2023年には、宗祖親鸞聖人のご誕生850年、また、その翌年には立教開宗800年にあたる記念すべき年をお迎えするにあたり、2023年に慶讃法要をお勤めいたします。

親鸞聖人は承安3年・1173年にご誕生となり、御年9歳で出家得度され、比叡山で修行を重ねられました。29歳の折、山を下りて法然聖人の御弟子となられ、阿弥陀如来の本願念仏の世界に入られました。その後、専修念仏停止によって越後にご流罪になられ、赦免の後は関東に赴かれて他力念仏のみ教えを人々に伝えられるとともに、『教信証』の執筆にとりかかられました。他力念仏のみ教えがまとめられた本書は、浄土真宗の根本聖典という意味でご本典と呼ばれています。そして、そのご本典の記述によって、その成立を親鸞聖人52歳の時、すなわち元仁元年・1224年とみて、この年を立教開宗の年と定めています。

仏教は今から約2500年前、釈尊が縁起や諸行無常・諸法無我というこの世界のありのままの真実をさとられたことに始まります。翻って私たちは、この執われのないおさとの真実に気づくことができず、常に自分中心の心で物事を見て、悩み、悲しみ、あるいは他人と争ったりして

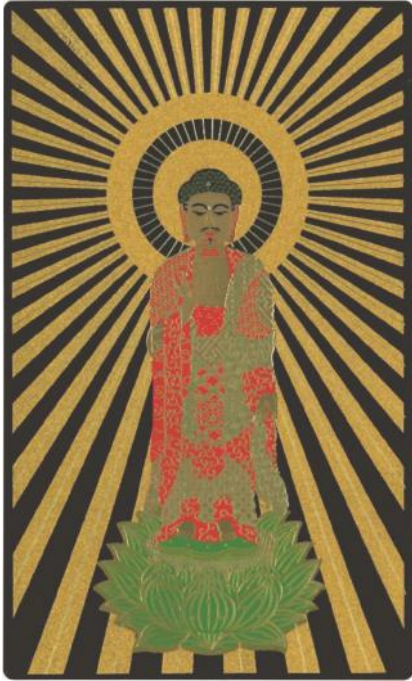
います。釈尊は、このような私たちをそのままに救い、おさとの真実へ導こうと願われたのが阿弥陀如来であることを教えてくださいました。そして、親鸞聖人は、この阿弥陀如来の願いが、南無阿弥陀仏のお念仏となってはたらくき続けてくださっていることを明らかにされたのです。

ありのままの真実に基づく阿弥陀如来のお慈悲でありますから、いのちあるものすべてに平等にそがれ、自己中心的な考え方しかできない煩惱具足の私たちも決して見捨てられることはありません。その広大な慈悲を思うとき、親鸞聖人が「恥づべし傷むべし」とおっしゃったように、阿弥陀如来のお心とあまりにもかけ離れた私たちの生活を深く慚愧せざるをえません。しかし、この慚愧の思いは、阿弥陀如来の悲しみを少しでも軽くすることができればという方向に私たちを動かすでしょう。

それは、阿弥陀如来の願いを一人でも多くの人に伝え、他人の喜び悲しみを自らの喜び悲しみとするような如来のお心になう生き方であり、また、世の安穩、仏法弘通を願われた親鸞聖人のお心に沿う生活です。み教えに生かされ、いよいよお念仏を喜び、すべてのいのちあるものが、お互いに心を通い合わせて生きていけるような社会の実現に向け、宗門総合振興計画の取り組みを進めながら、来るべき親鸞聖人ご誕生850年ならびに立教開宗800年の慶讃法要をともにお迎えいたしましょう。

2019(平成31)年1月9日

龍谷門主 釋專如



2021(令和3)年4月1日より新たな在家免物として「携行本尊(絵像)」の交付がはじまりました。日常生活でいかなる状況に出遇っても、阿弥陀如来のはたらきに包まれていることを実感できるようにとの願いを込めています。



どんな時も  
阿弥陀さまが  
ご一緒



寺院名		所在地	
調布市	光西寺	〒182-0003 調布市若葉町1-44-2	Tel.03-3300-5054 Fax. 同 左 法座：不定期
	安養寺	〒182-0003 調布市若葉町1-44-5	Tel.03-3307-5605 Fax.03-3307-5496 法座：第1日曜日
	明西寺	〒182-0003 調布市若葉町1-43-5	Tel.03-3300-1901 Fax.03-3300-2681 法座：10日前後婦人会 1.4.10月壮年会 <a href="https://myousaiji.or.jp/">https://myousaiji.or.jp/</a>
	光徳寺	〒182-0003 調布市若葉町1-38-27	Tel.03-3300-6431 Fax.03-5384-3344 法座：不定期
	西照寺	〒182-0003 調布市若葉町1-39	Tel.03-3300-7734 Fax.03-3300-7794 法座：毎月第2土曜日
	光源寺	〒182-0006 調布市西つつじヶ丘2-30-11	Tel.03-3300-0881 Fax.03-3308-6289 法座：隔月 奇数月 がん患者・家族語らいの会 第4火曜 月1回 <a href="http://van103.com/wp/">http://van103.com/wp/</a>
	正善寺	〒182-0003 調布市若葉町1-42-5	Tel.03-3300-6064 Fax.03-3300-6687 法座：第1日曜日（1日の場合は8日）
	覺證寺	〒182-0033 調布市富士見町1-35-5	Tel.042-482-5556 Fax.042-480-0166 法座：第1土曜日・聖典学習会 月1回 <a href="https://kakushoji.or.jp/">https://kakushoji.or.jp/</a>
	長専寺	〒182-0033 調布市富士見町1-35-4	Tel.042-482-3411 Fax.042-498-1105 法座：不定期
	圓福寺	〒182-0022 調布市国領町1-10-11	Tel.042-482-7955 Fax.042-481-4734 法座：不定期
延浄寺	〒182-0006 調布市西つつじヶ丘2-30-1	Tel.03-3326-7337 Fax.03-3326-5037 法座：不定期 <a href="https://enjoyoji.com/">https://enjoyoji.com/</a>	
立川市	光西寺	〒190-0021 立川市羽衣町3-20-16	Tel.042-522-3413 Fax. 同 左 法座：毎週金曜晩又は土曜昼 各種仏教講座 <a href="https://www.kousaiji.tokyo/">https://www.kousaiji.tokyo/</a>
国立市	應善寺	〒186-0002 国立市東2-2-1	Tel.042-572-0043 Fax.042-572-0148 法座：毎月第1土曜日 門徒会：偶数月中旬の日曜 <a href="https://ouzenji.com/">https://ouzenji.com/</a>
小平市	照恩寺	〒187-0041 小平市美園町3-23-20	Tel.042-341-2935 Fax.042-347-4122 法座：毎月13日・第1土曜・第4土曜 <a href="https://www.shouonji.jp/">https://www.shouonji.jp/</a>
多摩市	阿弥陀寺	〒206-0013 多摩市桜ヶ丘1-24-2	Tel.042-375-8055 Fax.042-337-4889 法座：年3回・毎月28日 明宝会：毎月15日前後 極楽トンボ会
青梅市	浄弘寺	〒198-0036 青梅市河辺町8-19-8	Tel.0428-32-1769 Fax.0428-32-2010 法座：第3土曜日 <a href="https://joukoji.com/">https://joukoji.com/</a>
稲城市	玄忠寺	〒206-0822 稲城市坂浜878-6	Tel.042-331-3655 Fax.042-350-1530 法座：第3日曜日
町田市	圓成寺	〒194-0004 町田市鶴間5-17-1	Tel.042-795-0181 Fax.042-795-0444 法座：毎月28日 <a href="https://itp.ne.jp/info/13073001810000089/">https://itp.ne.jp/info/13073001810000089/</a>
	圓成寺出張所	〒194-0035 町田市忠生3-24-13	Tel.042-792-3007 Fax.042-792-3006
	町田布教所 高源寺	〒195-0063 町田市野津田町2534-20	Tel.042-737-3236 Fax. 同 左 法座：第2土曜・23日前後の平日 <a href="https://www.ko-genji.com/">https://www.ko-genji.com/</a>
八王子市	専念寺	〒192-0063 八王子市元横山町2-14-24	Tel.042-644-3491 Fax.042-648-6087 法座：隔月1回
	光照寺	〒192-0912 八王子市絹ヶ丘3-8-1	Tel.042-635-3754 法座：不定期
	本光寺	〒193-0832 八王子市散田町4-40-10	Tel.042-664-2196 Fax.042-663-2501 法座：仏教講座 第3金曜日 <a href="https://honkouji.net/">https://honkouji.net/</a>
	大恩寺	〒193-0943 八王子市寺田町1085	Tel.042-668-0889 Fax.042-668-1825 法座：第2土曜日・第4日曜日 <a href="http://www.daionji.jp/">http://www.daionji.jp/</a>
	誓願寺	〒193-0816 八王子市大楽寺町209-5	Tel.042-651-0073 Fax.042-651-6183 法座：第3木曜日 毎月10日 大楽の集い <a href="http://seiganji.tokyo/">http://seiganji.tokyo/</a>
	延立寺	〒193-0802 八王子市犬目町681	Tel.042-654-2429 Fax.042-654-6930 法座：第4月曜日 <a href="http://enryuji.a.la9.jp/">http://enryuji.a.la9.jp/</a>